



開会のあいさつに立った
中芝理事長

事業報告・決算など可決承認

令和5年第2回通常総会開催

令和5年7月31日、日赤会館会議室で令和5年第2回通常総会が開催された。令和4年度事業報告ならびに各会計決算等について審議され、議決事項18議案がいずれも可決承認された。

競争入札で経費節減を図る

冒頭、開会のあいさつに立った本会の中芝理事長は、令和6年3月に機器の保守期限が到来する国保総合システムについて「現在、国保中央会で開発が進められており、本会においても、来年度からのシステム運用・保守業者を競争入札により選定することとし、準備を進めている」と述べ「入札にあたっては、競争性を高めるため、調達仕様の見直しを行うことで、一層の経費節減を図ることとしている」と説明した。

一方、本体業務である審査支払業務はもとより、保健事業の推進や第三者行為における体制構築等、各種業務の充実・強化にも積極的に取り組んでいくとの意気込みを示した。

18議案を可決承認

その後、議長に中芝岩出市長を選出し、議事に入った。

議決に先立ち、事務局から令和4年度事業報告、一般会計および各特別会計歳入歳出決算ならびに5年度補正予算等について説明した。

本会の主な取り組みとして、基幹系システムの安定運用をはじめ、保健事業への支援では、研修会やセミナーにおいて資料を配布したほか、県の協力のもと、保険者から多くの要望が寄せられていた「重複・多剤対象者リスト」を作成したことや、第三者行為求償事業では、国保被保険者等への傷病届提出義務の周知および傷病届の提出促進を目的とした「傷病届提出促進啓発ポスター」を作成し、医療機関における窓口勧奨用に県下の医療機関に配布を行ったことなど、基本方針に基づいた取り組みを報告した。

慎重なる審議の結果、すべての議案が原案のとおり可決承認された。